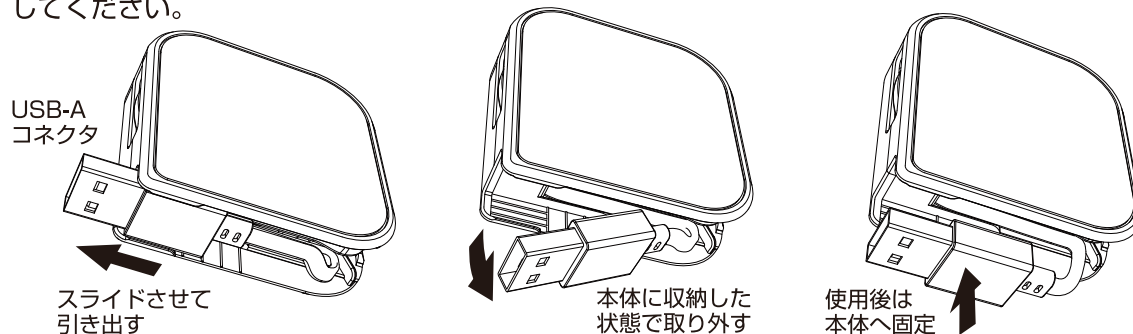


## 取扱説明書

## 使用方法

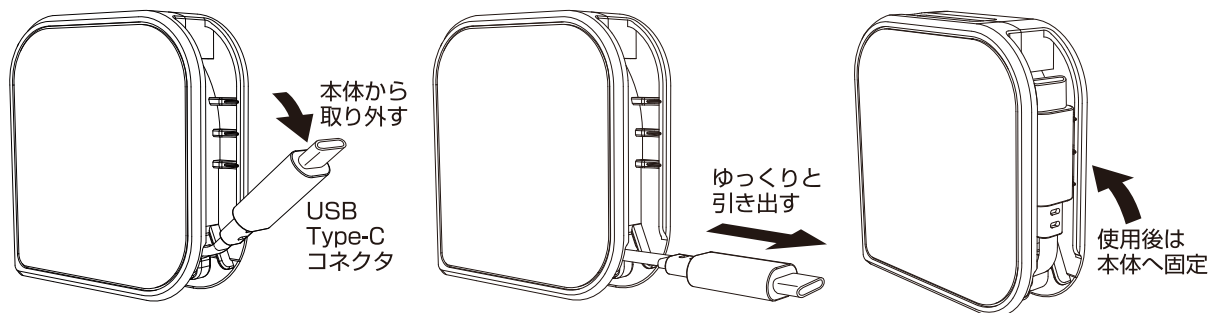
## ■USB-A コネクタの伸縮・接続

- ①本体に収納されている USB-A コネクタをスライドさせて、USB-A コネクタ先端部分を本体から引き出します。
- ②USB 電源やパソコン等の USB-A ポートへ USB-A コネクタ先端を挿し込みます。
- ③USB-A コネクタを本体から取り外してご使用することも可能です。  
※取り外す際は、USB-A コネクタ先端部分を本体に収納した状態で行なってください。  
※USB-A コネクタを強く引っ張り引き出すことはおやめください。断線や故障の原因になります。
- ④ご使用後は USB 電源やパソコン等の USB-A ポートから取り外し、USB-A コネクタを本体に固定してください。



## ■USB Type-C ケーブルの伸縮・接続

- ①USB Type-C コネクタを本体から取り外して持ちながら、ゆっくりと USB Type-C ケーブルを引いてください。ロックがかかり固定されます。ロック後に USB Type-C コネクタを USB Type-C 搭載端末へ接続し充電または同期を行ってください。  
※充電・同期する際は、必ずケーブルを全て引き出して、伸ばした状態で充電・同期してください。巻き取り状態や束ねた状態でのご使用はケーブルの発熱等の原因となります。
- ②ご使用後は USB Type-C コネクタを、USB Type-C 搭載端末から取り外します。USB Type-C コネクタを持ち、ゆっくりと USB Type-C ケーブルを引いてください。ロックが外れてコードが巻き取られ収納されます。  
※USB Type-C ケーブルを収納する際はコネクタを手に持ち、ゆっくりと巻き取ってください。途中で手を離すと勢いよく巻き取られ、本体の巻き取りができなくなる場合があります。
- ③ご使用後は USB Type-C コネクタを本体に固定してください。



## 注意事項

- コネクタ形状の異なる端子口に挿さないでください。故障原因となります。
- 充電・同期する際は、必ずケーブルを全て引き出して、伸ばした状態で充電・同期してください。巻き取り状態や束ねた状態でのご使用はケーブルの発熱等の原因となります。
- 機器に接続した状態でケーブルを伸ばしたり、縮めると機器のコネクタ部分が破損する恐れがあります。ケーブルを機器から取り外してから伸縮してください。
- コネクタ部への無理な挿し込みや引き抜きはおやめください。機器破損する恐れがあります。
- USB-A コネクタの表・裏の向きにご注意の上、まっすぐ機器に挿してください。ケーブルを持って引っ張るとケーブルが破損する恐れがありますのでおやめください。
- 本製品を使用中、異臭、変形等の異常が起きた場合は、製品の使用を直ちにおやめください。
- 本製品で接続された機器が正常に動作しない場合はただちに使用を中止してください。
- 本製品を使用中に万が一携帯電話機本体の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任、保証は負いかねます。予めご了承ください。
- 機種によっては電池切れ警告サインが表示された場合、本製品での充電が出来ない場合があります。したがって電池残量表示（電池残量バー）が1本の段階までに充電するようにご注意ください。また、使用中に電池切れ警告サイン表示後の状態になり充電ができない場合には純正の充電器で5分程度充電いただくと、本製品での充電が可能になります。
- 端子をショートさせないでください。
- 本製品の分解、改造は絶対におやめください。破損し製品が機能しなくなる場合があります。改造・分解により発生した損害について、当社は責任を一切負いません。
- 湿気・直射日光は避けて使用してください。
- 濡れた手で使用しないでください。
- 子供の手の届く所には保管しないでください。
- ※記載の会社名 / 製品名は各社の商標または登録商標です。
- ※レシートは必ず保管してください。万一の製品不良による返品の際に必要となります。
- ※本製品のデザイン・仕様は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

## USBコネクタ全般のご注意

- ケーブルやスマートフォン、USB 出力機器の接続端子部の変形や導通性の異物（金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など）または液体（汗・化粧水・飲料水等）が付着した状態でのご使用は端子間が短絡（ショート）し発熱や焦げの原因となり大変危険です。
- 取り扱いには十分ご注意ください。また異常があった場合はご使用をおやめください。
- コネクタを斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、コネクタに負荷をかけないでください。各接続端子内部への導通性異物や液体の混入・付着はないか必ず確認してください。